

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(10月分)について

2023年10月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	7,605,550	589,893	1,289.3%	17,200,399	44.2%
国内旅行	16,050,975	12,340,491	130.1%	13,868,100	115.7%
訪日旅行	546,823	142,511	383.7%	627,629	87.1%
合 計	24,203,348	13,072,895	185.1%	31,696,128	76.4%

【概況】

10月の営業概況は、総取扱額242億334万8千円、2019年同月比76.4%となりました。海外旅行は、10月の出国日本人数が2019年度比56.4%で、7月以降の4か月で僅か2.7ポイント増と市場の回復が停滞しています。国際線の供給数がコロナ前の8割まで回復し、訪日旅行がコロナ前を超えた一方で、海外旅行においては、12月以降の燃油サーチャージの値上げが確定するなど、円安と燃油高の影響が長期化する懸念が高まっています。

当社では、需要を牽引するアジアを中心とする近距離方面と、海外旅行のリピーターを中心に底堅い需要のある欧州、北米、中東方面を中心に募集告知を継続的に実施しました。その結果、韓国が2019年同月比で2.2倍となったほか、台湾、ベトナム、トルコ、エジプトの集客が増加し、前月を上回りました。しかしながら、海外旅行全体では2019年同月比44.2%に留まりました。

国内旅行は、本格的な秋の行楽シーズンを迎え、需要の回復が進みました。東北や甲信越など紅葉ツアーの需要が高く、越後、信州、黒部立山、上高地の集客がコロナ前を上回りました。また、ライトアップの紅葉を楽しむ貸切り企画や秋の花火イベントなど、企画性の高い商品やイベントにより、全国各地からの募集を強化しました。

九州がコロナ前を上回ったほか、近畿、北陸・甲信越、四国も好調に推移し、国内旅行の取扱高は、前年同月比 130.1%、2019 年同月比では 115.7%となり、好調に推移しました

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	2,666,427	2,187,579	121.9%	3,782,598	70.5%
国内旅行	190,286	169,555	112.2%	268,422	70.9%
訪日旅行	2,534	0	—	6,373	39.8%
合 計	2,859,247	2,357,136	121.3%	4,057,395	70.5%

※前年および 2019 年度同月取扱高は、阪神トラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2 社内取引を相殺したものです。

【概況】

10 月の営業概況は、総取扱額 28 億 5,924 万 7 千円、前年同月比 121.3%、2019 年同月比では 70.5%となりました。

海外旅行では、業務渡航が全体的に好調に推移したものの、日本人の中国短期ビザ免除措置がいまだ再開されない影響で、2019 年同月比 70.5%に留まりました。

国内旅行は、2019 年同月比 70.9%、前年同月比 112.2%となり、緩やかに回復が進みました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	9,904,758	2,772,883	357.2%	20,965,634	47.2%
国内旅行	16,208,506	12,469,589	130.0%	14,037,217	115.5%
訪日旅行	549,357	142,511	385.5%	634,002	86.6%
合 計	26,662,621	15,384,985	173.3%	35,636,853	74.8%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724